BEST AVAILABLE COPY

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

61-244883

(43) Date of publication of application: 31.10.1986

(51)Int.CI.

F04B 39/10 F04B 39/12

(21)Application number: 60-083873

(71)Applicant: MATSUSHITA REFRIG CO

(22)Date of filing:

19.04.1985

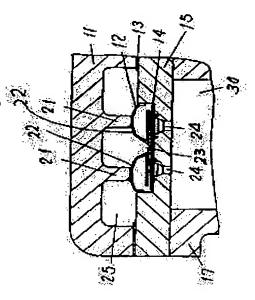
(72)Inventor: SASANO HIROSHI

(54) DISCHARGE VALVE OF COMPRESSOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To reduce the number of parts of discharge pipe and to increase space of the discharge chamber in order to prevent overcompression by directly supporting a spring, for pressing a discharge reed valve by a cylinder head cover.

CONSTITUTION: A discharge reed 14 is arranged on two discharge holes 24, 24 provided on a valve plate 15. A spring 12 is provided above the discharge reed 14 so as to press the discharge reed 14 at its concave part 23. And, the spring 12 is so arranged as to be directly supported by pressing its two convex parts 22, 22 respectively by two projecting parts 21, 21 of a cylinder head cover 11.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

19 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

母 公 開 特 許 公 報 (A) 昭61-244883

⑤Int Cl.4

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和61年(1986)10月31日

F 04 B 39/10 39/12 C-6649-3H D-6649-3H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

図発明の名称 圧縮機の吐出弁

砂特 顋 昭60-83873

❷出 願 昭60(1985)4月19日

郊発 明 者 笹 野 博 東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会社内

⑪出 願 人 松下冷機株式会社 東大阪市高井田本通3丁目22番地

⑫代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 4

1、発明の名称

圧縮機の吐出弁

2、特許請求の範囲

(1) バルプブレートと、そのバルプブレートの吐出孔を開閉する吐出リードと、スプリングと、シリンダーヘッドとを備え、前配シリンダーヘッドでスプリングを介して吐出リードを直接支持する 構成とした圧縮機の吐出弁。

(2) スプリングの一部を、吐出リードの開閉を規 制するストッパーとする構成とした特許請求の範 囲第1項記載の圧縮機の吐出弁。

(3) 吐出リードを浮動可能とし、スプリングのパネカだけで弾性支持する構成とした特許請求の範囲第1項記載の圧縮機の吐出弁。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、圧縮機の吐出弁の改良に関するものである。

従来の技術

従来の例えば第4図、第5図に示す圧縮機の吐出弁では、パルプブレート1に吐出孔1 a および との吐出孔1 a を挟んで位置したピン孔1 b が に けられている。 2 はピンで、前記ピン孔1 b に を 放けている。 3 は 3 な で な か た な か と な か な 3 a 、 3 b 、 3 c が 組み合わさった吐出リードで互いに押しあった吐出孔1 a を 閉塞 する 逆方向に 端部を 折曲した 板 3 a 、 3 b と、 弾性を 有する 板 3 o と よ り形成されている。 4 は ストッパーで 吐出リード 3 の移動を 規制する ものである。 そして前記ピン2に 沿って これらを 順番に な み 重ねている。

さらに、8はスプリングで、前配ストッパー4の上に取り付け、係止板でを前配ピン2に係止する ことにより吐出弁5が構成されている。8はシリンダーヘッドでパルプブレート1を介してポルト (図示せず)によりシリンダー盤8に固着されている。また吐出弁5は、シリンダーヘッド8にて形成された吐出室10に収納されている。

上記構成において、吐出リード3に働くガス圧

がパルププレート1の吐出孔1 a より吐出される。

発明が解決しようとする問題点

ところが、このようを構造では、吐出された圧縮ガスはシリンダーヘッド8の吐出室10に放出されるのであるが、吐出弁8の構成部品が多く、コストUPになるとともに、吐出室10のスペースが減少し、過圧縮となりやすく圧縮機の入力がUPする原因となっていた。

また構造上、ピン2を圧入する為、パルプブレ -ト1の吐出孔1 aの間隙を大きく取れない欠点 を有していた。

そこで本発明は、このような従来の問題点を解 消するものであり、構成を容易にしコストダウン を図るとともに吐出室スペースを大きくし、組立 てを容易にすることを目的とする。

問題点を解決するための手段

上記目的を達するため、本発明の技術的手段は、 シリンダーヘッドで、スプリングを介して吐出り

さらにスプリングの谷部23で吐出リード14を 2つの吐出孔24の間で押さえている。

吸入ガスはパルププレート 1 6 の通し孔 2 8 を通り、シリンダーヘッド 1 1 の吸入室(図示せず)に 答えられ、吸入孔 2 9 を通って、 シリンダー内 3 0 に導かれ、圧縮される。圧縮ガスの圧力がパルリード 1 4 が押し上げられ圧縮ガスがパルププレート 1 5 の吐出孔 2 4 よりシリンダーヘッド 1 1 の吐出室 2 5 に吐出され、パルププレート 1 5 の 1 2 6 位 1 2 7 1 2 0 ガイドである。

また第3回は、第1回,第2回のスプリング12 の拡大図で、吐出リード弁14のたわみ量を規制 できるようにしたストップ節27を有する。

従来例と比較すると、構成部品が少なく、組立 てが容易でコストダウンが図れる。また、パルプ プレート 1 5 のへこ分部 2 6 を付ける事により吐 出室 2 5 をより大きく取ることが可能となり、か つパルププレート 1 5 の吐出孔 2 4 の体積が減少 - ド弁を直接支持するものである。

作 用

本発明の技術的手段による作用は、次のように なる。すなわち、構成部品を少なくする事が可能 でコストダウンが図れる。また吐出室スペースを 広く取れ過圧縮を防止できる。さらに構成が容易 で超立てが容易になるという効果を有するもので ある。

実 施 例

以下、本発明の一実施例について図面に基づき 説明する。

第1図,第2図,第3図に示すように、11は シリンダーヘッド、12はスプリング、13はガ スケット、14は吐出リード、15はバルブブレ ート、16はポルトである。そして、ポルト16 で従来例第4図と同様のシリンダー壁17にシリ ンダーヘッド11,ガスケット13/バルブブレ ート15のそれぞれの孔18,18,20を通して、 固樹される事により、シリンダーヘッド11の突 起部21で、スプリング12の山部22を押さえ、

するので圧縮損失が減り、圧縮効率が向上する効果が得られる。

発明の効果

以上のように本発明の圧縮機の吐出弁によれば、次の効果を得ることができる。

- (1) 部品点数を少なくする事が可能でコストダ
- (2) 部品点数を少なくする事が可能で、吐出室 スペースを大きく取れ、過圧縮を防止できる。
- (3) 構成部品を簡略化でき、組立てを容易にする事ができる。

4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例である圧縮機吐出弁の断面図、第2図は同吐出弁の分解斜視図、第3 図は第2図のスプリング拡大斜視図、第4図は従来の圧縮機の吐出弁を示す断面図、第5図は同吐 出弁の分解斜視図である。

18……パルプブレート、24……パルプブレートの吐出孔、14……吐出リード、12……スプリング、11……シリンダーヘッド。

